

小さな空

詞、曲：武満徹

~Toru Takemitsu

作詞・作曲：武満徹

- 1 青空みたら 綿のような雲が
悲しみをのせて 飛んでいった
いたずらが過ぎて 叱られて泣いた
こどもの頃を 憶いだした
- 2 夕空みたら 教会の窓の
スタンドグラスが 真赤に燃えてた
いたずらが過ぎて 叱られて泣いた
こどもの頃を 憶いだした
- 3 夜空をみたら 小さな星が
涙のように 光っていた
いたずらが過ぎて 叱られて泣いた
こどもの頃を 憶いだした

はるかな友に

磯部 俣作詞・作曲

静かなよふけに いつもいつも
思い出すのは お前の事
お休みやすらかに たどれ夢路
お休み楽しく こよいもまた

明るい星の夜は はるかな空に
思い出すのは お前の事
お休みやすらかに たどれ夢路
お休み楽しく こよいもまた

いつも何度でも

作詞：覚和歌子、作曲・編曲：木村弓

呼んでいる 胸のどこか奥で
いつも心躍る 夢を見たい
かなしみは 数えきれないけれど
その向こうできっと あなたに会える

繰り返すあやまちの そのたび ひとほ
ただ青い空の 青さを知る
果てしなく 道は続いて見えるけれど
この両手は 光を抱ける

さよならのときの 静かな胸
ゼロになるからだが 耳をすませる
生きている不思議 死んでいく不思議
花も風も街も みんなおなじ

ララランランランラー——ランランラン
ラララランランララランラララランラララ
ララ
ホホホホホホホルンルンルンルフフフフ
ルルルルルンルルル——ンルルル

呼んでいる 胸のどこか奥で
いつも何度でも 夢を描こう
かなしみの数を 言い尽くすより
同じくちびるで そっとうたおう

閉じていく思い出の そのなかにいつも
忘れたくない ささやきを聞く
こなごなに砕かれた 鏡の上にも
新しい景色が 映される

はじまりの朝の 静かな窓
ゼロになるからだ 充たされてゆけ
海の彼方には もう探さない
輝くものは いつもここに
わたしのなかに
見つけられたから

ララランランランラー——ランランラン
ラララランランララランラララランラララ
ララ
ホホホホホホホルンルンルンルフフフフ
ルルルルルンルルル——ンルルル

いのちの歌

作曲：村松崇継 作詞：Miyabi(竹内まりや)

生きてゆくことの意味 問いかけるそのたびに
胸をよぎる 愛しい人々のあたたかさ
この星の片隅でめぐり会えた奇跡は
どんな宝石よりも たいせつな宝物
泣きたい日もある 絶望に嘆く日も
そんな時そばにいて 寄り添うあなたの影
二人で歌えば 懐かしくよみがえる
ふるさとの夕焼けの 優しいあのぬくもり

本当にだいじなものは 隠れて見えない
ささやかすぎる日々の中に かけがえない喜び
がある

いつかは誰でも この星にさよならを
する時が来るけれど 命は継がれてゆく
生まれてきたこと 育ててもらえたこと
出会ったこと 笑ったこと
そのすべてにありがとう
この命にありがとう